

者、今の塔里木河の水源を以て、黄河の水源と誤認せしに因るならん、暫く記して疑を存す。

要するに崑崙山脈は、新疆省の南境に東西に連綿たる高山脈の總稱なるが故に近時露國ブレゼパルスキー氏の發見せし阿勒騰塔格山脈も又カシミヤと支那の國境たる喀喇崑崙山脈も、共に崑崙山脈の一部分たるに過ぎざるなり。

#### 山路難夷

喀喇崑崙山脈は、葱嶺に連りてパミール高原の一部を成形す。其中最も高きは海拔二萬八千尺以上に達し、山中二條の道路を通じ、東に在るを喀喇崑崙道と稱し、西藏竝に英領カシミヤに到り、西に在るをギルギット道と呼び、カシミヤ及阿富汗に達するも、共に氷河を通過するが故に甚だ難路とす。又同山脈中には、蒙古人の常に西藏に往復する二條の駱駝道を有す。即ち一は和闐より、他は羅布淖爾より南行するもの是なり。此の山路は敢て甚しき難路に非らずと云ふ。

#### 地質

喀喇崑崙山系の高峯は、其頂概ね花崗岩より成り少しく下れば、多く硅岩若くは片麻岩、尙ほ最も下れば綠泥片岩、石灰岩又は礫岩を以て組織し、往々石英岩を混するを見る。